

2022年10月31日

各 位

株式会社三井住友銀行

住友不動産株式会社への「グリーンローン」の実施について

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、住友不動産株式会社（代表取締役社長：仁島 浩順）に対し、グリーンローン（以下、「本ローン」）を実施いたしました。

グリーンローンは、企業等が環境問題の解決に貢献する事業（以下「グリーンプロジェクト」）に要する資金を調達する際に用いられる融資であり、具体的には、①調達資金の用途がグリーンプロジェクトに限定され、②調達資金が確実に追跡管理され、③それらについて融資後のレポートを通じ透明性が確保されたものを指します。

住友不動産グループは、総合デベロッパーとして「より良い社会資産を創造し、それを後世に残していく」という基本使命のもと、事業活動を通じて、経済的価値のみならず社会や地域の課題解決に貢献し、将来に渡って必要とされる社会的価値を一体的に創出することで、持続的に企業価値を向上させていく「サステナビリティ経営」を推進しています。この取組みを資金調達面においても実践するため、第九次中期経営計画（2023年3月期から2025年3月期）において、総額1兆円を調達する「グリーンファイナンス・フレームワーク」（以下、「本フレームワーク」）を2022年5月に設定しています。

本フレームワークは、国際金融業界団体の ICMA（International Capital Market Association）にて策定された「グリーンボンド原則（2021年版）」、LMA（Loan Market Association）、LSTA（Loan Syndications and Trading Association）及び APLMA（Asia Pacific Loan Market Association）にて策定された「グリーンローン原則（2021年版）」、並びに、環境省にて策定された「グリーンボンドガイドライン（2020年版）」との適合性について、第三者機関である株式会社日本格付研究所（JCR）及び株式会社格付投資情報センター（R&I）から「セカンドオピニオン」を取得しています。

本ローンで調達される資金は、本フレームワークで定められた適格クライテリアを満たすプロジェクトの開発資金、及びそのリファイナンス資金に充当されます。住友不動産グループは、長年にわたって蓄積してきた「土地を創る力」＝開発力を強みに、引き続き都市機能の更新による地域貢献を通じてサステナブルな社会の創造とともに、持続的な成長、企業価値の最大化を実現してまいります。

SMBCグループでは2021年7月27日に「SMBC Group GREEN Innovator」のコンセプトを公表し、社会のサステナビリティをお客さまとともに実現するためのサービス・商品の提供に一層注力してまいります。また、株式会社三井住友銀行では、お客さまのサステナビリティ経営に向けたソリューションの提供や対話を行い、持続可能な社会及び市場の形成にも一層貢献を行ってまいります。

（参考）

住友不動産株式会社ホームページ「グリーンファイナンス」：

https://www.sumitomo-rd.co.jp/sustainability/green_finance/をご参照下さい。

株式会社日本格付研究所（JCR）による「第三者意見」の詳細：

<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/green/fw/>をご参照下さい。

株式会社格付投資情報センター（R&I）による「セカンドオピニオン」の詳細：

<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/greenfinance/index.html>をご参照下さい。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】
サステナブルソリューション部
TEL：03-4333-6964

このお知らせは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。